



昭和医科大学歯学部だより

2025年11・12月号

通算第237号

総合型選抜入試・学校推薦型選抜入試・卒業生推薦入試・編入学試験が実施されました

<入試常任委員 美島 健二>

本年度の総合型選抜入試の志願者は62名であり、昨年度(59名)より志願者数の増加がみられました。まず、書類審査が実施され、その合格者が10月4日(土)に旗の台キャンパスにて実施された選抜試験を受験しました。選抜試験では、模擬授業とその理解度の確認、面接試験が実施され、9名(男子2名、女子7名)の合格者が発表されました。学校推薦型選抜入試、卒業生推薦入試、編入学試験は、11月16日(日)に旗の台キャンパスにて実施されました。学校推薦型選抜入試の受験者数は卒業生推薦入試を含めて88名(男35名、女子53名)と昨年度より21名増と飛躍的に増加し、選考の結果37名(男子15名、女子22名)の合格者が発表されました。編入学試験では、24名が受験し昨年度よりも5名の受験者の増加を認めております。選考の結果、4名(男子3名、女子1名)の合格者が発表されました。



今後の入試日程は、令和8年2月5日(木)に一般選抜入試(I期)と大学入学共通テスト利用入試の面接試験、3月8日(日)に一般選抜入試(II期)が実施されます。教育職員の皆様には、ご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

SCRP で発表しました

<歯学部5年生 柴山 樹音>

このたび、2年次の研究入門の成果を基に、令和7年度日本歯科医師会スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム(SCRP)日本代表選抜大会にて発表を行いました。演題のタイトルは、「乳酸脱水素酵素 A の骨芽細胞分化における役割」です。実験を通じて、骨芽細胞分化過程における代謝酵素の重要性を考察する中で、研究の奥深さと科学的探究の面白さなど多くの体験を得られた貴重な機会となりました。また、発表準備では、抄録やスライドなどの作成にも初めて取り組み、多くのご助言をいただきながら試行錯誤を重ねました。ご指導くださいました口腔生化学講座・塙崎 雅之教授、口腔生理学講座・笹 清人助教をはじめ、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

- P.1 【入試実施報告】入試常任委員 美島 健二 教授
【SCRP 参加報告】歯学部5年生 柴山 樹音 さん
- P.2 【解剖慰靈祭挙行】口腔解剖学講座 吉村 健太郎 准教授
【学生懇談会開催】教育委員長 船津 敬弘 教授
- P.3 【イルミネーション点灯式】学生部長 野中 直子 教授
【学士会開催】学士会運営委員会(学術部) 鈴木 規元 教授
- P.4 【D1 初年次体験実習】富士吉田教育部 前田 昌子 教授
【行事予定】広報委員長 柴田 陽 教授

解剖慰靈祭が挙行されました

<口腔解剖学講座 吉村 健太郎>

令和7年度解剖慰靈祭が10月21日(火)昭和医科大学上條記念館において執り行われました。本年度は122柱のご献体が慰靈され、うち23柱が歯学部実習および研究に寄与されたものです。参列者全員が黙祷を捧げた後、式典では医学部解剖学講座大塚 成人教授の祭文、医学部・歯学部2年生の弔辞、上條 由美学長の挨拶に続き各部門代表者、ご遺族・学内関係者、学生が献花を捧げました。歯学部からは2年生代表織部 愛優さんが弔辞を述べ、馬場 一美歯学部長、高見 正道歯学研究科長、野中 直子口腔解剖学講座教授、美島 健二口腔病態診断科学講座教授、楳 宏太郎歯科病院長、織部 愛優さんが代表者献花を捧げ、参列者とともに故人のご冥福をお祈りしました。



学生懇談会が開催されました

<教育委員長 船津 敬弘>

秋期の学生懇談会が11月4日に開催されました。学生側からは2年生～5年生のクラス委員が出席し、教員側は馬場歯学部長、野中学生部長、弘中D6チーフチーフ長、坂井歯学教育推進室長と私が出席いたしました。

講義に関しては、出欠席確認時の可視化の再徹底が要望されました。基礎実習ではいくつかの講座に対し、ライター間の評価基準のばらつきは正や、歯科理工実習室での石膏やアルジネート使用際の運用面に関して改善をしてほしい旨の意見が出され、該当する講座より改善に関する返答がありました。5年生からは歯科病院臨床講堂の音声やスクリーンの不具合に関する意見が出され、学務課で確認、対応することとなりました。

馬場歯学部長からは、授業や実習がより良いものとなるように、これからも遠慮なく意見を出してほしいとのお話しがクラス委員にございました。今後も学生の意見を広く集め、講義、実習を含め学生生活の改善に努めてまいりたいと思います。

イルミネーション点灯式を行いました

<学生部長 野中 直子>

11月21日17時より、旗の台キャンパス1号館正面玄関前でイルミネーション点灯式が行われました。カウントダウンに合わせて3名の学生さんにより点灯スイッチが押されると、中庭は一瞬にして宝石をちりばめたような彩りとなり、あまりの美しさに大勢の参加者から歓声が上がりました。当日はクラブによるパフォーマンスがあり、MAS、グリークラブ、アカペラの出演、そして最後は応援指導部の演舞がありました。寒い中ではありましたが会場にはご近所の皆様の参加もあり、皆様の手拍子で盛り上がりました。

お帰りの際には、旗の台キャンパスの正門で足を止め、美しいイルミネーションで一日のお疲れを癒してください。このキラキラとした輝きが、さらに昭和医科大学を輝かせることでしょう。



学士会が開催されました

<学士会運営委員(学術部) 鈴木 規元>



令和7年11月29日(土)に第72回昭和医科大学学士会総会が、4号館およびZoomライブ配信のハイブリッド式にて開催されました。

一般演題および学位論文内容発表(全51題)では、歯学部から26題が発表され、大学院生を中心に活発な質疑応答が行われました。

年次報告に続いて、7名の学士会学術奨励賞授与が行われ、歯学部からは歯内治療学分野の片山 卓也先生が受賞されました。

教育講演では、1)多様化する前立腺癌治療の最前線(医学研究科泌尿器科学分野 深貝 隆志教授)、2)骨免疫学の新時代へ向

けて(歯学研究科口腔生化学分野 塚崎 雅之教授)、3)自らの肩痛に終止符を—臨床知見とエビデンスで紐解く五十肩・肩こり(保健医療学研究科リハビリテーション分野 西中 直也教授)の3題の講演が行われました。臨床の最前線や夢のある最新の研究をわかりやすくご紹介いただき、大変有意義な大いに刺激を受けた講演となりました。

歯科診療の基本実習Ⅰ(初年次体験実習)が実施されました

＜富士吉田教育部 前田 昌子＞

10月7日～27日歯科診療の基本実習Ⅰ(初年次体験実習)が実施されました。本実習は学部連携実習(病院見学、福祉施設見学、救命法実習など)と学部実習を3日毎にローテーションで実施しています。歯学部実習は1日目に身だしなみの確認や歯科ユニットを使った事前学修、2日目は歯科病院見学、3日目は見学の報告発表を行います。

歯科病院見学では初めに馬場学部長から歯科病院の機能、見学の意義について講義をしていただきました。見学先は希望した診療科を含めた3診療科を50分ずつ見学しました。

実習ではオリエンテーション時に同窓会から授与されたネーム入り白衣を着用しています。初めは首元のボタンの付け方もおぼつかなかった学生達ですが、白衣を着用し、初めて臨床の場に立つ緊張感でこわばっていた顔も、担当の先生や研修医、5年生の先輩方の優しい指導のおかげで徐々に笑顔が出せるようになっていきました。実習後に控室に戻ってきた学生たちはお互いに見学の様子を語り合い、充実した実習だったことがうかがえました。実習の実施にあたり、ご協力いただきました患者様、関係者のみなさまに感謝いたします。



行事予定

＜広報委員長 柴田 陽＞

1月31日(土)・2月1日(日) 第119回歯科医師国家試験

2月 5日(木) 歯学部一般選抜入試Ⅰ期

大学入学共通テスト利用入試(面接)

2月23日(月・祝) 大学院春季Ⅱ期入試(医・歯・薬学研究科)

昭和医科大学 歯学部だより 通算237号 2025年12月発行

発行責任者：歯学部長 馬場 一美 編集責任者：広報委員会委員長 柴田 陽

11・12月号編集委員：刑部 月(広報委員会)

〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL: 03-3784-8000

ホームページ: <https://www.showa-u.ac.jp>